

# ネパール・タハ市の里山における水と土の環境を次世代に繋げる

活動地域  ネパール

ひろげる助成

3年目

実践

ゴミの収集量 **4,175 kg**

イベント参加人数 **1,210 名**

今年度計画の達成度 **100 %**

全体計画の達成度 **90 %**



川辺のゴミ拾いキャンペーン

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

インセンティブとして設けたエコツーリズムだが、村人には里山保全と生活向上となるエコツーリズムの繋がりが理解されにくく、活動を行うグループ間の連携に苦勞した。

### ■工夫した点

ローカルグループ間の緩やかな連携を促すため、「農村文化体験フェア」を開催。これにより、清掃やゴミの分別活動等が地域振興に繋がる取組みであることを認識させた。

## 課題

開発による都市化が進み、川の汚染等の環境汚染が問題となっているが、何ら対策が取られていない。住民・行政関係者は対策よりも開発を優先としている。

## 目標

里山保全に対する住民意識やエコツーリズムへの関心度の向上と、里山保全のための体制構築。また、持続的な水質及び土壌の改善。

## 活動内容と成果

- 学校への環境教育 7校・303人
- ゴミ分別の方法の看板等 10基
- ゴミ拾い 280人参加、6回実施
- マルチシート集積場 2か所設置
- 植樹 150本
- 水質・土壌調査 12か所・100サンプル
- ゴミ分別場の床面追加工事、コンポストピット設置
- 医療用ごみバケツ配布 39個、エンドライン調査 1回
- ホームステイ研修141人参加、HP制作、農村文化体験フェア開催 (1,210人集客)、環境学習型体験プログラム実施 (34人)、ホームステイ先進地視察 (24人)



環境学習型体験プログラム

## 全助成期間の活動を振り返って

本プロジェクトは環境保全に関する住民への啓蒙・実践と、持続的に環境保全を行うインセンティブとしてのエコツーリズムの導入から成る。前者は地域を巻き込んだ清掃活動や周知活動、ゴミの分別場整備に取り組んだ結果、川の水質浄化等の成果があがった。後者については、ホームステイ研修等を通して、豊かな自然環境を基盤とした地域の振興が自らの生活の向上に繋がることが理解され始めてきているところである。



農村文化体験フェア

〒247-0063  
神奈川県鎌倉市梶原3丁目18-10  
電話：080-7968-0059  
E-mail：lgkamakura@nifty.com  
HP：http://lovegreenjapan.org/



## 今後の展望

本プロジェクトは清掃活動・ゴミ分別・ホームステイといった、三つのローカルグループの活動から成っている。また、「地域振興・環境保全が自らの生活向上に繋がる」といったプロジェクトの軸が理解されてきているところである。今後も持続的な里山保全のため、地域振興の視点からエコツーリズムを推進させていきたい。なお、活動の連携のためのコーディネーターはプロジェクトサイトの一つが執り進めるよう働きかけている。

